

令和元年度 西区 運営方針

I 基本目標 つながり大切に 誰もがにこやかしあわせにらせるまち 西区へ

西区の総合的な計画である「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(第3期西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)は、着実に取組が進み、5か年計画の4年目を迎えます。

引き続き、地域の皆さまと区役所の連携・協力を強め、にこまちプランと地域包括ケアシステムを取組を一体的に進めるとともに、より良いまちづくりに取り組んでいきます。

今年度は、大規模イベントの開催により来街者の増加が見込まれます。歴史に残るビッグイベントをきっかけに、西区が一層輝き、魅力あふれるまちとなるよう、各施策を進めていきます。

II 目標達成に向けた施策

地域のつながりづくり

4年目を迎える「にこまちプラン」の推進を通じて、引き続き、地域の皆さまと一緒に考え、課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるとともに、地域の「担い手づくり」「居場所づくり」に関する取組を継続していきます。加えて、区全体計画の取組の振り返りを行い、次期第4期計画の策定に向けて準備します。

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで、誰もが自分らしく安心して暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者の暮らしを支える仕組みづくり、障害のある人への活動サポート、生活困窮者への相談支援、生活習慣病予防などの健康づくりに取り組みます。

まちの回遊性向上とにぎわいづくりにぎわいづくり

第7回アフリカ開発会議やラグビーワールドカップ 2019™の開催に合わせて、商店街等と連携したにぎわいづくりやイベントの機運醸成に取り組めます。また、地域資源を活用した魅力発信や区内の回遊性を高める取組を進めます。さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ振興を強化します。

安全・安心なまちづくり

地域における自助・共助の取組を支援するとともに、各種訓練の実施など地域の防災機能を強化します。また、地域や関係機関とも連携して、防犯啓発活動や交通安全対策を一層強化するとともに、熱中症対策、食中毒・感染症予防啓発にも力を入れて取り組みます。

III 目標達成に向けた組織運営 ～親しみやすい区役所づくり～



西区の
マスコットキャラクター
「にしまるちゃん」

お客様の立場に立った窓口サービスの提供

区民の皆さまを笑顔とあいさつで温かくお迎えます。お話をよく聴き、丁寧でわかりやすい説明を心掛け、迅速で正確なサービスを提供します。

西区の取組や魅力の発信

「広報よこはま」をはじめとした広報紙やホームページ、SNS など、様々な方法を有効に活用して、西区の取組や魅力を積極的に発信します。

『チーム西区役所』の強化

職員一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、人材育成を進めます。また、各課が連携し、横のつながりを強め、『チーム西区役所』として総合力を発揮します。

主な事業・取組については、次ページをご覧ください⇒

1 4年目を迎える「にこまちプラン」の推進を通じて、地域の皆さまとともに課題解決に取り組みます

- ・区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザからなる地区支援チームが、地域の課題解決に向けた取組を支援します。
- ・「にこまちフォーラム」を開催し、地域の主体的な取組を共有するとともに、さらなる活動の充実につなげます。
- ・にこまちプラン区全体計画の振り返りを実施し、次期計画の策定に向けた準備を進めます。



にこまちフォーラム

2 地域活動の担い手を支援し、協働でまちづくりを進めます

- ・自治会・町内会をはじめとして、福祉や環境・文化・スポーツ・青少年育成など、様々な分野で地域の活動を行っている団体と連携し、より良いまちづくりを進めます。
- ・「西区地域づくり大学校」の開催や「居場所づくりガイドブック」の活用を通じて、地域の新たな担い手づくりや居場所づくりにつなげます。

1 乳幼児期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を行います

- ・「プレパパママ教室」や「赤ちゃん教室」などに加え、3歳児健診時に臨床心理士による個別相談を行うなど、妊娠期から出産後まで切れ目のない子育て支援を行います。
- ・児童虐待の防止に向け、見守りやネットワークの強化を図ります。
- ・利用者のニーズに合わせた保育・教育施設の紹介などを行い、待機児童対策を進めます。
- ・「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」へ転換し、放課後の居場所の充実を図ります。

2 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる仕組みをつくります

- ・地域包括ケアシステムについて、関係機関や区役所の取組を広く周知する啓発キャンペーンを実施します。
- ・「お店版認知症ガイド」の配布や、認知症サポーター養成講座の実施など、認知症にやさしいまちづくりを進めます。
- ・「膝痛予防」をテーマとした講演会や研修会を実施します。
- ・「西区在宅療養ガイド」を活用して、高齢者の在宅療養に関する理解を深めます。
- ・民生委員・児童委員、「ふれあい会」等の活動を支援し、ひとり暮らし高齢者等の見守り体制を充実させます。



お店版認知症ガイド

3 障害のある人も安心して生活できる環境づくりを進めます

- ・区民まつりやふれあい作品展などの機会を通じて、障害への理解を深める取組を進めます。
- ・地域防災拠点訓練にあわせた啓発を行うなど、障害のある人及び家族を支える地域のネットワーク強化を図ります。

4 生活習慣病予防や食育推進に向けた情報発信を行います

- ・パネル展の実施などを通して、生活習慣病予防や口腔ケア、食育推進など健康づくりへの関心を高めます。

5 生活に困窮している人へ早期の自立に向けた相談支援を行います

- ・相談者自ら家計のやりくり改善に取り組むためのワークブックを作成し、生活に困窮している人の自立を支援します。

6 子どもから大人まで読書に親しめる取組を進めます

- ・大学などと連携した講座や施設間のスタンプラリーを実施し、身近な場所で読書に親しむ機会をつくれます。



1 第7回アフリカ開発会議やラグビーワールドカップ 2019™の開催にあわせて、商店街やまちのにぎわいづくりに取り組みます

- ・第7回アフリカ開発会議（TICADVII）開催にあわせ、アフリカ文化への理解を深めるイベントを開催します。
- ・ラグビーワールドカップ 2019™のファンゾーンが臨港パークに設置される機会を利用して、商店街の魅力を広く来街者等にPRします。
- ・区内小学校で元日本代表選手による体験型ラグビー教室を開催します。



こどもラグビー教室

2 地域資源を活用した魅力発信やまちの回遊性向上に取り組みます

- ・海外からの来街者が増加することを踏まえ、公共施設案内サインを多言語化するとともに、ガイド情報誌「ことりっぴ横浜西区さんぽ」の英語版を作成し、西区の魅力を発信します。
- ・観光に特化したマップをデジタル化し、スマートフォンでの閲覧や英語表示に対応します。
- ・引き続き「ベイバイク」のポートを既成市街地に広げ、まちの回遊性を高めます。

3 西区の歴史資産等を活かした取組を行います

- ・55回目を迎える「西区虫の音を聞く会」や「横浜かもんやま能」、「西区民まつり」などのイベントの開催を通して、地域の更なる交流と活性化を図ります。

4 大規模スポーツイベントに向けた機運を高めるため、身近な場所でスポーツに親しめる機会をつくります

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、元出場選手によるスポーツ教室や体験会を開催します。

1 自助・共助の取組を進めるとともに、地域における防災機能を強化します

- ・地域防災拠点の取組支援や、感震ブレーカーの設置促進、初期消火器具等の更新補助などを引き続き実施し、自助・共助の取組を進めます。
- ・外国籍の住民や海外からの来街者対応として、防災マップを多言語化します。
- ・横浜駅周辺地区の安全性を高めるため、帷子川水位上昇に係る調査を大学・企業と協働で行います。



地域防災拠点訓練
(中学生による救命救急講習)

2 地域の防犯力の強化に取り組みます

- ・振り込め詐欺や特殊詐欺被害防止のため、青色パトロールの出動拡大や防犯メール配信など、関係機関と連携した防犯啓発を行います。

3 まちの交通安全対策を関係機関とともに推進します

- ・小学校全校での交通安全教室の実施や、スクールゾーンの安全対策など、地域・学校・警察・関係団体と連携して地域の交通安全を強化します。

4 健康危機管理に取り組みます

- ・衛生に関する意識啓発や事業者への指導を通じて、食中毒や感染症予防啓発に努めます。
- ・クールシェアスポットの紹介など、熱中症対策に向けた注意喚起を行います。

5 環境にやさしい生活スタイルの定着を目指します

- ・ごみの減量や3Rの取組を進めるとともに、横浜駅周辺での企業等の清掃活動を支援します。
- ・緑のカーテン栽培講座等を通じて、脱温暖化に向けた意識啓発や、身近な緑づくりを進めます。

6 道路・下水道・公園を適切に維持管理します

- ・計画的に維持管理・点検・修繕し、誰もが住みやすい環境づくりに取り組みます。



親しみやすい区役所を目指して

総務課 (窓口 50・51)

チーム西区役所を支えます！
快適で親しみやすい区役所づくりを推進するとともに、地域の自助・共助の活動支援や各種訓練等により災害対応力の強化に取り組みます。また、選挙や統計調査を適正に進めます。

区政推進課 (窓口 1・49)

区民の皆さまが必要とする情報を、様々な広報手段を活用してわかりやすく伝えます。
また、大規模イベントにあわせて区の魅力を発信するとともに、まちづくりや地域に関するニーズをとらえ、区の運営に生かします。

地域振興課 (窓口 47・48)

自治会・町内会や、各種団体等と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。また、大規模イベントの開催を契機として、地域の皆さまや商店街等と連携して、まちのにぎわいを創出します。

税務課 (窓口 43~46)

市税業務を公正・適正に行うとともに、区民の皆さまに十分な理解が得られるように、丁寧に説明します。
また、税負担の公平性を保つため、適切に滞納整理を進めます。

区会計室 (窓口 41)

区民の皆さまの信頼に応える、迅速で適正な会計経理事務を行います。
また、窓口に来た方や電話でのお問い合わせに対し、わかりやすい説明を心掛け、丁寧な対応をします。

高齢・障害支援課 (窓口 21~23)

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けるため、必要なサービスが切れ目なく提供できるよう取り組みます。
また、障害のある人が住みやすいと思うまちを目指し、障害への理解を促進します。

こども家庭支援課 (窓口 24・25)

妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を行います。
地域・学校・幼稚園・保育所・地域子育て支援拠点等と連携し、はじめて子どもを育てる方も安心して子育てができる環境づくりを進めます。

福祉保健課 (窓口 26・27)

地域の皆さまが主役の「にこまちプラン」を関係団体と連携強化しながらサポートしていきます。
また、区民の皆さまがにこやかに健康に過ごせるよう、感染症対策や生活習慣病予防のPRに努めます。

生活衛生課 (窓口 28)

区民の皆さまが健康で安全に暮らせるよう、食中毒・感染症の予防啓発、食や衛生害虫の情報提供、犬猫の飼育マナーに関する知識の普及啓発をします。横浜駅やみなとみらい周辺で開かれるイベントの衛生対策を推進します。

戸籍課 (窓口 2~6)

窓口に来た方を温かくお迎えし、丁寧にわかりやすい説明をします。また、迅速で正確な事務処理を行います。
特に個人情報に適切に取り扱うことで、皆さまから信頼される窓口を目指します。

保険年金課 (窓口 7~10)

保険・年金制度を通じて、窓口に来た方や、区民の皆さまに高いサービスを提供します。
また、関係各課と連携して、困り事のある方を幅広く支援していきます。

生活支援課 (窓口 11)

生活に困っている方に寄り添い、親身な相談や的確な支援を通して生活を支えます。特にジョブスポットと連携したお仕事探しや家計のやりくりへの支援の充実、子どもの将来の自立に向けた支援に力を入れます。

西土木事務所

道路、下水道、公園の維持管理や、ハマロード・サポーター、公園愛護会の支援を行います。
また、区民の皆さまの要望に適切に対応し、安全で快適なまちづくりを進めます。

南浅間保育園

子ども一人ひとりを尊重し、大切に慈しむ保育を行います。
また、区内の子育て関連施設と連携して地域の親子への子育て支援を行うとともに、区全体の保育の質の向上を図ります。

「チーム西区役所」は資源循環局 西事務所や西消防署等とも連携し、地域の皆さまと一緒に課題解決に取り組めます！



令和元年度 5月発行